資料５

平成２１年中の交通事故発生状況

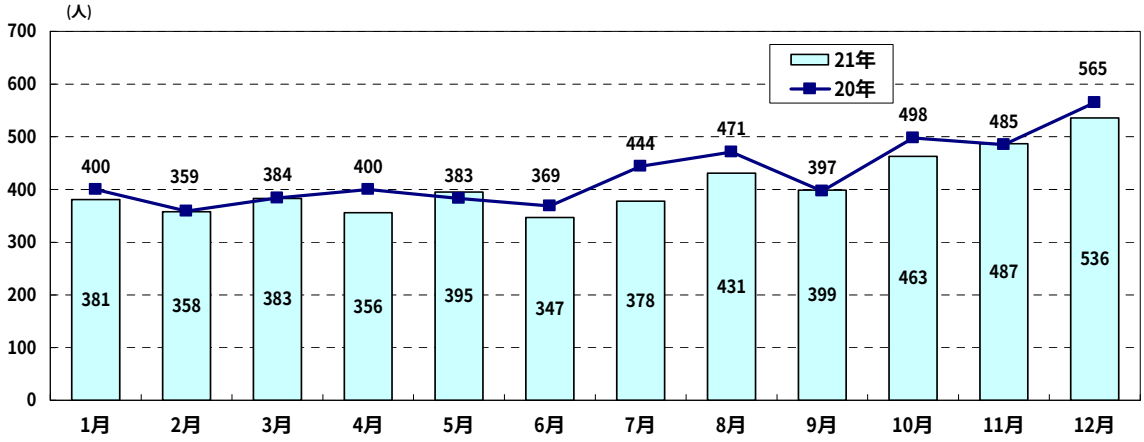
１　交通事故発生状況

○　発生件数　　７３６，６８８件　　前年比　－　２９，４５９件（－　３．８％）
○　死 者 数　　４，９１４人　　前年比　－　　２４１人（－　４．７％）
○　負傷者数　　９１０，１１５人　　前年比　－　３５，３８９人（－　３．７％）

平成 21 年中の交通事故による死者数は、4,914 人で、９年連続の減少となるとともに、昭和 27 年以来 57 年振りに４千人台となり、ピーク時(昭和 45 年＝16,765 人）の３割以下となった。また、平成 16 年に過去最悪を記録した交通事故発生件数及び負傷者数も５年連続で減少し、負傷者数は 10 年振りに 100 万人以下となった前年を更に下回った。

しかしながら、交通事故死者数の約半数を 65 歳以上の高齢者が占めるほか、飲酒運転等の悪質違反に起因する交通事故によって、多くの尊い命が犠牲となっているなど、交通事故情勢は依然として厳しいものがある。

【交通事故死者数の月別推移】



２　交通死亡事故の特徴

（１）60～64 歳を除く全ての年齢層で減少し、高齢者（65 歳以上）の占める割合はほぼ半数

若者（16～24 歳）	５１９人	前年比	－３２人	－５．８％	構成率１０．６％
60～64 歳	３７１人	前年比	＋１３人	＋３．６％	構成率　７．５％
高齢者	２，４５２人	前年比	－４７人	－１．９％	構成率４９．９％

（２）前年に引き続き歩行中死者が最多の状態

自動車乗車中	１，６００人	前年比	－１１０人	－６．４％	構成率　３２．６％
自転車乗用中	６９５人	前年比	－　２２人	－３．１％	構成率　１４．１％
うち高齢者	４４５人	前年比	－　２１人	－４．５％	構成率　１８．１％
歩行中	１，７１７人	前年比	－　　４人	－０．２％	構成率　３４．９％
うち高齢者	１，２０２人	前年比	＋　１１人	＋０．９％	構成率　４９．０％

（３）若者の運転による死亡事故は 10 年間で約３分の１(原付以上１当)

若者(16～24)歳	７１５件	前年比	－　２８件	－３．８％
高齢者	８９０件	前年比	－　６７件	－７．０％
うち 75 歳以上	４１６件	前年比	＋　１０件	＋２．５％

（４）最高速度違反による死亡事故は 10 年間で４分の１以下

最高速度違反	３２８件	前年比	－　２８件	－７．９％
飲酒運転	２９２件	前年比	－　１３件	－４．３％
漫然運転・安全不確認	１，２１１件	前年比	＋　２１件	＋１．８％
うち高齢運転者	２４１件	前年比	＋　　９件	＋３．９％

（５）高速道路の死亡事故は減少

高速道路	１６１件	前年比	－　１３件	－７．５％